

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	未破裂脳動脈瘤の開頭クリッピング術の術前シミュレーションにおける cone-beam CT angiography の有用性
研究責任者 (所属科名)	松重 俊憲 (広島市立安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科 部長)
本研究の目的・意義	未破裂脳動脈瘤の開頭クリッピング術において、動脈瘤までアプローチする上でシルビウス裂の剥離は基本的な顕微鏡操作です。血管を損傷することなくシルビウス裂を剥離するためには、シルビウス静脈の解剖の詳細な理解が必要です。従来、術前シミュレーションは当院では造影 CT の画像結果をもとに作成してきました。しかし、この造影 CT の画質では顕微鏡で観察されるような詳細な血管走行の情報は、術前には予想することはできませんでした。近年 cone-beam CT angiography により微細な血管構造の描出に有用であることが報告されております。したがって、我々は開頭クリッピング術の術前シミュレーションに cone-beam CT angiography が有用かどうかを検証しました。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2017年4月～2020年1月 研究期間：2020年12月末までを予定しています。
該当資料・データ	2017年4月～2020年1月までに当院にて未破裂脳動脈瘤を有する患者のうち開頭クリッピング術を施行し、術前に造影 CT、cone-beam CT angiography により術前シミュレーションをした症例。患者背景、術前シミュレーション画像などのデータ収集し解析を行います。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	特にありません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	広島市立安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科 部長 松重 俊憲 (PHS3031)